

Corenet EdTech 通信

Pickup!
STEAM

STEAM教育のために必要なこと、STEAM教育でできること

STEAM教育によって 広がる学び



MESHについてのより詳細な
内容や実践例の紹介は→



STEAM教育を取り入れる重要なポイント

コアネット教育総合研究所

岡田 育也

STEAM教育の意義は、理数系の基礎知識や素養、芸術的な視点を学び、専門家の知識や発想を自分なりに結び付けて主体的に思考すること、そして学問を実際の社会・生活と結びつけることです。

STEAM教育を実施する上で、ICT環境整備は基盤となります。公立学校はGIGAスクール構想の成果として、一人一台のタブレット端末整備、ネットワーク環境整備が急速に進みました。私立学校においても、STEAM教育を行うための授業時間創出、課題解決型の協働学習や企業とコラボレーションなどを実現するためにも、EdTechツールの活用は不可欠です。ICT環境整備と活用ビジョン構築、研修を早急に実行する必要があります。

MESHによるSTEAM教育

ソニーマーケティング株式会社

MESHプロジェクトリーダー

萩原 丈博氏

「MESH」はソニーマーケティング株式会社が提供するIoTブロックで、一つ一つのブロックがボタン、温度センサーや動作感知などの機能を持っており、それらを実線で専用のMESHアプリにつなげることで様々なことを可能とする製品です。

MESHを導入してSTEAM教育を行う場合、MESHはあくまでもアイデアを実現するための道具であって主役ではないため、要所で利用する形になります。重要な点は、出発点として目的を設定することにあります。技能を学ぶという点からではなく、「課題を解決する」という目的をもって進めることで学習意欲を高く持ちながら学ぶことができます。ツールについて学んでそれをどう使うかではなく、やりたいことが先にあってそれに対してツールがどのように使えるかを考えることが重要です。

MESHを利用することで、短時間で「計画→実行→評価→計画…」のループ回すことができます。実際に手を動かしながら都度修正をしていくような試行錯誤は学びにおいて、とても重要な作業です。次に重要なポイントとして、グループで取り組むということが挙げられます。グループで取り組むことで合意形成というスキルを学べ、自分の考える方法以外の課題解決の方法を知ることができます。これらのことを学びながら、IoTにおけるプログラミングの本質を学ぶことが可能です。

6月29日開催「教育ICT活用セミナー」より抜粋

弊社ではSTEAM教育の実現に向けて、機器導入のサポートから、導入後の利活用のアドバイスまで、トータルで支援を行っております。是非ご相談ください。

ICT活用アドバイザー

コアネット教育総合研究所では、長年蓄積したノウハウを携えICT環境整備や授業でのICT活用など教育ICTに関するあらゆる場面で適切なサポートやアドバイスを行うICT活用アドバイザーを請け負っています。機構のICT導入・活用の状況に応じてご支援内容をご提案いたします。

ICT
活用研修

タブレット・
学習ツール導入

ICTビジョン・
ルール作り

ICT環境活用診断

無料

その場で分かる学校ICT活用診断

【端末・環境・組織】、
【EdTech活用】の2項目、
全10問で簡単にICT活用状
況がチェックできます。



ICT活用詳細診断

簡易版より詳細な学校ICT
活用診断をご希望の方は、
診断結果を担当者より回答い
たします。(Googleフォーム)



お問い合わせはこちら

住所 〒224-0003
横浜市都筑区中川中央1-26-10

TEL 045-914-3005
(担当：岡田、川田)

E-mail info@core-net.net

オンラインでの学びに役立つサイト公開中

URL www.core-net.net/ict/

教育と学校経営専門のシンクタンク&コンサルティング企業



コアネット教育総合研究所

